

こども園における自己評価結果報告

こども園における園内自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				・理念や教育、保育目標は年度ごとに職員に書類で渡し話し合い、共通理解を図っている。保護者には入園のしおり、重要事項説明書、ホームページ、園だよりで知らせているが、活字だけでは伝わりにくい点もあるため、教育、保育における実践を「きつずノート」の中のアルバムで分かりやすく知らせる工夫をしている。子どもを一人の人間として尊敬をもって関わることの重要性について理解し、気持ちにゆとりをもって接することを確認しあった。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか	○				
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行われているか	○				
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育家庭の見直しを行っているか	○				・園の教育、保育理念をもとに、入園から就学前までの発達と学びの連続性を捉え全体的な計画を作成している。また、より具体化された教育・保育が展開されるような指導計画も立てている。計画実施においてPDCAサイクルのC(評価)→A(改善)、あるいはA(改善)→P(計画)の部分で不十分な点があるので、職員間で話し合い一層、深められるようにしたい。行事については子どもの育ちにとって必要なものであるか、地域交流が図られているかなどを含め、実施時間や活動の内容など、見直しを行うことが出来た。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から終了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか	○				
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・安心感と信頼感を基盤として主体的に環境に関わることが生きる力の基礎となる。また、「養護と教育の一体化」の意味するところを理解し、生活のあらゆる場面で学び体験をしていることから、「学びの芽」を摘むことのないよう、常に子供の思いや関心事に心と目を向けられるよう意識していきたい。特に遊びにおいて子どもの興味、関心に合った環境が整っているか、また遊びの連続性を踏まえ、どのように遊びが広がっていくのか、遊びを自由に選択して展開しているかなどを各週ごとに表し作成するなど取り組んでいる。今年度、コロナ禍のため食事の際、人数を減らし黙食をするなどの安全を優先した。コロナ禍のため、戸外活動の時間が減った。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人格・物的環境が整備されているか	○				
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか	○				
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか	○				
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか			○		
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか	○				
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか	○				
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか			○		

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を築いている。今年度はコロナ対策のため、クラス懇談会は行わなかったが個人懇談で対応した。また、送迎時になるべくクラス担任と話せる環境を作るよう対応を検討した。 ・地域の未就園児を対象に園を開放し、園児や子育て家庭との交流、幼児食の提供、栄養士による育児相談等を設けていたが、コロナ対策のため、今年度は実施出来なかった。今後は情勢によるが、地域のニーズを把握し、さらなる取り組みの工夫をしていく。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、職員が感染拡大を最小限に食い止める努力をしている。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のための玩具や施設内の消毒、感染拡大を最小限に食い止める努力をしている。感染症が発生した場合は、お知らせメールや掲示板等で速やかに保護者に知らせている。また感染症等の発生を予防するために園内研修で嘔吐処理等の対応について学び、全職員が対応できるよう徹底していきたい。 ・アレルギー疾患児には、保護者、担任、栄養士が定期的に面談を行い、医師の指示書を提出してもらって対応している。 ・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って行っている。 ・園内外での研修を行い、職員の研鑽に努めている。また自己評価を年2回行うことで、職員自身の振り返りを行っている。教育保育の改善が図れるように今後も職員の資質と専門性の向上に努めていく。 ・個人情報適切に取り扱うことの重要性を話し合い、全職員に再度周知徹底した。 ・園児や保護者の権利を守り、安心して預けて頂くためにも保護者の意見や苦情に対応する体制を整っている。第三者委員会等法令に沿った方法で円滑円満に解説できるように努めている。次年度も園児一人ひとりを大切に、一人ひとりに応じた支援を多様的に行えるよう職員の資質向上に努めていく。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか	○				
	(7) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(8) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(9) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	○				
	(10) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	○				
	(11) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	○				
	(12) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか	○				